



2020年度事業報告集

特定非営利活動法人
地域福祉サポートちた

目 次

■ 2020年度事業報告	1
・2020年度 特定非営利活動法人地域福祉サポートちた事業報告	2
・その他実績	21
■ 2020年度決算報告	23
・活動計算書	24
・計算書類の注記	26
・貸借対照表	28
・財産目録	29
・備品台帳	31
■ 監査報告書	32
■ 2021年度 特定非営利活動法人地域福祉サポートちた役員名簿	33
■ 定款の変更	34
■ 2021年度事業計画／予算	35
・事業計画書	36
・活動予算書	40
・事業部門別予算書	42
■ 2021年度 サポートちた組織図と事業体系	43

2020 年度事業報告



- 事業報告
- その他実績

2020年度 特定非営利活動法人地域福祉サポートちた事業報告

1 事業実施の概略

特定非営利活動法人地域福祉サポートちたは、福祉の増進と地域社会の発展に寄与するため、地域福祉を担う市民としての意識の高い人材を養成する事業や市民活動を支援する事業を行っている。2025年に向けて基礎自治体ごとの「0歳から100歳の地域包括ケア」の実践を目標に立て、今年度は多様な主体との連携により、地域防災、居場所づくり、多職種連携を促す取り組みを実施した。また、NPOリーダー研修会にて、「地域福祉計画」を策定する知多半島8市町の関係機関と情報共有、さらに「知多地域成年後見利用促進計画」を進める知多地域成年後見センターの取組を学ぶことで、法人のミッションを多くの市民に伝え、地域包括ケアの理解を深めた。

具体的には、当法人の定款第5条第1号の事業として、介護職員初任者研修、喀痰吸引等第3号研修、行動援護従業者養成研修、強度行動障害支援者養成研修基礎・実践課程等の福祉人材育成を行い、またその講師養成に努めた。自治体行政職員や民生委員、NPO協働型サービスラーニング、インターンシップ等の対象すべてがNPO現場体験型を基盤とした人材育成研修を行った。定款第5条第2号の事業として、市民カフェ、ベティ基金等の運用を含むNPO事務局支援、さらに、グッドガバナンス認証機関とアマゾンジャパンが取り組む「みんなで応援プロジェクト」に参画、NPOが必要とする物品寄付の仕組みに着手した。また、知多市市民活動センター管理及び人材育成の市民活動支援事業、定款第5条第3号の事業として会報発行等の情報交流促進事業、第5条第4号の事業として、大学や市民団体、行政等が行うまちづくり講座への講師派遣、行政計画策定委員やまちづくり審議会等への参加、定款第5条第5号の調査・研究・提言事業として、知多市男女共同参画行動計画策定事業、愛知県NPOと大学・企業連携促進事業(あいち協働事業サポートセンター((N)ボランタリーネイバーズ、(N)ボラみみより情報局、当法人の三者協働受託))を行った。

2 事業の実施に関する事項

『特定非営利活動事業』

I 人材育成

I-1 福祉人材育成

安心と豊かさを実現できる在宅サービス、地域福祉を担うヘルパーを育成(県の認定に準じたカリキュラムの実施)

(1)

介護職員初任者研修(通信)	実施形態	自主事業	収益	2,896,250円
			費用	1,904,021円

[事業内容①]

介護に携わる者が、業務を遂行する上で必要な知識と技術を習得すると同時に、その実践の根拠となる考え方のプロセスを身につけ、基本的な介護業務を行うための介護職員初任者研修課程の習得を目的とした研修の実施。



日程	場所	内容	受講人数
12/24-3/23	日本福祉大学美浜キャンパス 知多市市民活動センター	講義と演習(130時間)、修了試験 ※新型コロナウイルス感染症対策として、一部講義(27時間)をオンライン(Zoom)講義にて実施した。また、施設実習を取りやめ振り返り講義に変更	40人
合計			40人

[事業内容②]介護職員フォローアップ研修

介護職員初任者研修課程修了者に対して、最新の知識・技術の学び直しの機会の提供。

[事業内容③]介護職員初任者研修の講師養成

会員団体内の次世代育成を目的とした講師養成を開催。今年度のオンライン講座導入に伴う操作方法や受講生とのコミュニケーションを学ぶ機会を提供。



日程	場所	内容	受講人数
8/7	知多市市民活動センター	・講師としての役割、講義の組み立て方、資料の作成方法、通信課題の添削方法 ・オンライン講義のためのZoom勉強会	7人
10/28	知多市勤労文化会館		7人
12/10	知多市市民活動センター		7人
合計			21人

(2)

略痰吸引等研修<第三号研修(特定の者)>	実施形態	自主事業	収益	1,206,480円
			費用	978,665円

[事業内容①]

介護職員が施設や居宅において、たんの吸引や経管栄養を行うための研修の開催。

日程	場所	内容	基本修了者	実地修了者
7/18、22	知多市市民活動センター	基本研修 ・重度障害児・者等の地域生活に関する講義 ・障害及び支援、緊急時の対応及び危険防止に関する講義	20人	17人
1/6、8	知多市市民活動センター	・略痰吸引等に関する演習 実地研修(対象者自宅、他)	7人	3人
合計			27人	20人

[事業内容②]略痰吸引等研修実施委員会の設置及び運営

開催日:2月4日(木)

開催場所:当法人事務所、オンライン併用

内容:①研修実施状況と進捗状況の報告

②実地研修における新型コロナ対策の周知方法の検討

出席者:中島一光(いきいき在宅クリニック院長)、森田貞子(すみれ訪問看護ステーション管理者)

戸田愛(いのちのきらめき畑)、市野恵、山森英津子



(3)

行動援護従業者養成研修	実施形態	自主事業	収益	528,000円
			費用	511,600円

[事業内容]

行動障害が著しい人の危険回避のために必要な援護、外出時の移動支援を行うための研修。

日程	場所	内容	受講人数
12/5、12、13、20	メディアス体育館ちた他	※強度行動障害支援者養成研修基礎研修、実践研修と同科目	16人

(4)

強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	実施形態	自主事業	収益	2,899,500円
			費用	2,112,984円

[事業内容]

行動障害が著しい人を支援する方を対象に、障害特性の理解と適切な対応を学ぶ。

日程	場所	内容	受講人数
7/4、5	メディアス体育館ちた	講義:基本的理解、制度及び支援技術の基礎的な知識	39人
9/5、6	メディアス体育館ちた	演習:基本的な情報収集と記録等の共有、固有のコミュニケーションの理解、行動障害の背景にある特性の理解	39人
1/24、31	知多市勤労文化会館		38人
3/13、14	知多市勤労文化会館他		38人
合計			154人

(5)

強度行動障害支援者養成研修(実践研修)	実施形態	自主事業	収益	706,200円
			費用	538,771円

[事業内容]

介護施設などで3年以上の実務経験を有する指導的立場にある職員を対象に、支援計画や手順書の作成を行う。

日程	場所	内容	受講人数
11/15、22	メディアス体育館ちた	講義: チーム支援、生活の組み立て 演習: アセスメント、環境調整、記録に基づく支援、危機対応と虐待防止	35人
合計			35人

[コロナ禍での研修実施についての意見交換会の開催]

障害福祉資格講座のコロナ禍での研修実施方法について、講師と意見交換を行った。

開催日: 7月8日(水)

開催場所: 当法人事務所、オンライン併用

参加者: 出口晋、坂本ちひろ((N)ゆめじろう)、豊田和浩、荻野ます美((N)ゆう)、林大輔、平林政明((社福)大府福祉会)、土肥克也((N)PakaPaka)、神田健司((N)あい)、稲生直幸((N)愛光園)、奥山善仁((株)あいぼ)、山森英津子、伊藤裕

[強度行動障害支援者養成研修基礎研修新カリキュラム検討会の開催]

令和3年度からのカリキュラム改正につき、講義演習方法について、講師と内容検討を行った。

開催日: 3月29日(月)

開催場所: 当法人事務所、オンライン併用

参加者: 出口晋、林大輔、土肥克也、神田健司、稲生直幸、奥山善仁、長谷川陽一((社福)西春日井福祉会)、山森英津子

[担当者のふりかえり]

- ・介護職員初任者研修は新型コロナウイルス感染症対策として、一部講義(27時間)をオンライン講義にて実施。受講生は自宅にて講義を受講した。オンラインで伝わりにくいコミュニケーション技術などの講義は、振り返り講義にて、内容の補足を行った。
- ・喀痰吸引等研修(第3号研修)は、新規事業所などの申し込みが重なり、基本研修の受講が目立った。新型コロナの緊急事態宣言中は実地研修を延期する対象者も見られた。吸引行為は、飛沫が飛散するリスクが高い為、基本研修の中で感染予防を伝えていく。
- ・緊急事態宣言の影響で、初回の強度基礎研修は中止となった。宣言解除後より、受講生同士の座席間隔が保てる広い会場を利用し、対面にて研修を実施した。基本研修では、放課後等デイサービス指導員の受講が多い傾向がみられる。次年度はカリキュラム改正に伴い、基本研修、実践研修ともに新たな内容で研修を実施する。
- ・会員団体の中から、講師要件に該当する方を対象に、初任者研修の講師育成勉強会を行った。一部講義がオンライン開催になることもあり、Zoomの操作方法などを伝えた。初めて講義を担当する方がほとんどであったが、各自事前準備をして当日を迎え、無事講義を終えることができた。担当した講師からは、自身も再び介護を学び直す機会となり、コロナ禍の時代に合った講義を経験することができたという声があった。(山森英津子)

I-2 NPO人材育成

(1)

NPOマネジメントセミナー	実施形態	自主事業	収益	30,000円
			費用	30,000円

[目的]

新社会人となるNPOスタッフや、指導役となる若手スタッフを対象に、仕事に取り組む姿勢や、ビジネスマナーの基礎など現場で役立つ接遇のポイントを学ぶ。

[開催場所]

知多市市民活動センター



[事業内容]

日程	テーマ・講師	内容	参加者数
6/30	ビジネスマナー講座 講師:久野美奈子((N)起業支援ネット)	・なぜマナーが必要か?ビジネスマナーの基礎知識 ・電話対応・呈茶・名刺交換 ・ビジネス文書・メールのマナー	10人

[担当者のふりかえり]

参加者は新社会人だけでなく、新人教育をOJTにて導入する組織が増えているため、指導役である若手スタッフの学び直しの場としても活用があった。臨機応変に対応することが求められ、マナーに正解がないケースが多いNPOの現場では、個人の価値観による判断ではなく、組織の理念を共有し行動することが重要との気づきが得られた。(安藤千栄子)

(2)

日本福祉大学 NPO協働型サービスマナー	実施形態	委託事業(日本福祉大学)①	収益	775,000円
			費用	775,000円
		委託事業(日本福祉大学)②	収益	30,000円
			費用	6,331円

[目的]

1980年代にアメリカで始まった「サービスマナー」は、社会活動を通して市民性を育む教育活動である。日本福祉大学では2009年4月から取り組み始め、学生が知多地域NPOでの活動の経験を授業内容に連結させ、将来、一人の市民として地域の問題解決に取り組む力を身につけることを目指す。



[事業内容①]

大学とNPOとの協働を推進するコーディネート業務

- ・サービスマナー受け入れNPOとの調整(25団体、学生117人)
- ・サービスマナー受け入れNPOとの意見交換会の開催

目的:お互いの活動内容を知り、本年度の振り返りから次年度への活動のヒントを探る機会の提供

日時:2021年2月15日(月)

会場:知多市市民活動センター、オンライン併用

参加人数:33人(会場:7団体10人、教員4人、事務局3人 オンライン:10団体11人、教員2人、大学事務3人)

[事業内容②]

山崎紀恵子ゼミ生6人の受け入れ実績

	日程	開催場所	内容
1	8/17	当法人事務所	法人概要及び活動内容の説明
2	8/26	知多市市民活動センター	会員交流会「SDGs時代のパートナーシップを語る会」参加
3	9/16 ~	当法人事務所	ちた未来塾への参加 全9回(9/16、9/19、10/14、10/17、11/11、11/21、12/9、12/19、2021/1/31)
4	12/11	当法人事務所	活動報告会資料の確認
5	12/18	日本福祉大学美浜キャンパス	活動報告会

[担当者のふりかえり]

・コロナ禍で例年通りにいかない中、現状で出来ることを考えることが多い年だった。今年だからこそそのアイデア・気づきもあった。この経験を今後活かせるコーディネートが大切だと感じている。(江端智子)

・オンラインでの活動となり、短い時間の中で当法人を説明し、学生に理解させることが大変困難であった。ちた未来塾では、知多市の観光や地域資源について意見交換を行い、他の塾生と交流することができた。(山森英津子)

(3)

インターン受け入れ	実施形態	委託事業(名古屋短期大学)	収益	50,000円
			費用	44,732円

[目的]

当法人の業務体験や研修・会議出席等の機会の提供、会員法人での現場体験等を通じて、NPOの理解、協働を学ぶ。



[事業内容]

日程	受け入れ	人数
2/16-2/26(9日間)	名古屋短期大学現代教養学科1年	5人×5日間

[担当者のふりかえり]

これまで学生一人10日の受け入れを行ってきたが、今年度より5日へと半減した。現場訪問での学びは大きく、学生の声を以下、一部紹介する。(市野恵)

- ・お話の中で「居場所」という言葉が多く出てきた。お話を伺い、私は地域で居場所を作ることで、助け合いの輪が広がっていくのだと考えた。そして、助け合うことで地域に居場所が作られていくのだとわかった。(N)絆を訪問したSさん)
- ・福祉は、人と人が支え合うから成り立つものだと言った。このインターンシップでは、就職した際に必要な仕事面だけでなく、人としての学びもあった。私も誰かを支えられる人になりたいと思えるようになり、もっと人と関わり、自分を成長させていきたい。(南粕谷ハウスを訪問したFさん)
- ・「何があっても誤魔化さない」「今辛くても逃げ出さずに向き合う」「少しでも自分の納得のいく生き方をする」という言葉は、これからはずっと、心に中に残しておこうと思った。自分が、人にとっての気持ちのいい環境を作るために、自分自身の人間性を磨いていくことが重要だと感じた。(はっぴーわん大府を訪問したMさん)

(4)

行政職員研修	実施形態	委託事業(知多市)	収益	138,710円
			費用	138,710円

[目的]

住民の福祉の増進を図ることを基本とする地方自治体職員の姿勢を自ら考える機会として、協働の必要性を理解し、NPOの設立の経緯や取り組みの事例及び、協働による地域課題の解決の成果を学ぶ。

[事業内容]

入職2年目職員を対象に、豊かな市民活動を求めて活動するNPOの目線とその成果を理解し、市民と共に協働のまちづくりに取り組む行政の役割を確認した。

参加人数	日時・場所・内容
入職2年目職員26人 担当課(職員課)1人 計27人	【講義】 10月8日(木)10時~12時 知多市市民活動センター ①「NPOの基礎知識と知多地域の特性(社会背景)」 講師:市野恵(サポートちた) ②「市民協働研修~ちた塾ってどんなところ?~」 講師:横井和美(市民大学ちた塾)、黒川衆史(生涯学習課) 【視察】 10月8日(木)12時~14時 南粕谷ハウス、10月14日(水)12時~14時 ゆいの会 【ふりかえり】 10月14日(水)14時~16時 知多市福祉活動センター会議室

[担当者のふりかえり]

新型コロナウイルス感染症対策のため、現場視察は2グループ(2日間)に分けて行った。現場の声を直接聞くことで、行政だけではできない、また民間だけではできないことが、協働によって実現し支援のしくみが成り立っていることを、NPOの視点に立って理解し、「自分達にできることは何か」を考え、グループで共有することができた。(安藤千栄子)

(5)

人財育成事業	実施形態	委託事業(ちた人財・志事ツール推進ネットワーク)	収益	180,180円
			費用	180,180円

[目的]

少子高齢化、人口減少等により課題の複雑化が進む地域社会において、自主的かつ自立的に地域づくりを行う人材の育成と、課題解決型の活動等の志事の創出を図るため、多目的な交流の場づくりを行い、活力ある個性豊かな地域社会を形成する。

[事業内容]

日程	内容/講師	参加人数
1/30	第1部 「SDGs講演会～持続可能なまちづくり～」 講師：戸成司朗（一社）中部SDGs推進センター代表理事、(N)中部プロボノセンター共同代表理事 第2部 意見交換会 テーマ：教育、SDGs、まちづくり、フリー	53人

[開催場所]

新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインのみの開催

[担当者のふりかえり]

商工振興課及び商工会と連携することで、地域経済とSDGsの関わり方の視点を持つことができた。講義内容より、NPOが提唱する「共感力」や「市民力」こそが時代の転換期、あるいは、アフターコロナ社会を乗り越え、真の豊かさを手に入れることができると確信した。(市野恵)

(6)

高齢者地域コミュニティ参加促進事業	実施形態	委託事業(愛知県福祉局高齢福祉課)	収益	1,907,000円
			費用	1,907,000円

[目的]

高齢者の社会参加を促進するため、既存の通いの場が抱える「独居高齢者や男性の参加が進まない」ことや、「利用者の固定化」などの課題解決を目指した通いの場モデル事業を3カ年実施し、内容などをまとめ県内全域へ普及することを目的とする。

[事業内容] 参加人数:延べ266人

	日程	場所	内容	参加人数
1	6月～3月 毎月第4水曜	地域の縁側グリーン・ラソ	新聞ちぎり絵講座(全9回開催) 新聞のカラー広告を活用したちぎり絵づくりを通じて交流する	76人
2	9/6	地域たすけあいセンター絆	講演「畑を通じた居場所づくり」講師：高木幹夫さん 愛知の伝統野菜を守り育てる活動を聞く	23人
3	9/15、11/17、 3/16AM、PM	あんきにきて家	さをり織講座(全4回開催) さをり織の作品づくりを通じて交流する	22人
4	10/15、12/17、 3/17	地域の縁側グリーン・ラソ	懐かしのレコード鑑賞会(全3回) 昭和を彩る懐かしのレコードを楽しむ	63人
5	11/21	地域の縁側ラソ・プラザ	フィリピン料理を一緒に作って食べよう！ 食を通じて異文化に触れ、国際交流をする	12人
6	12/5	地域の縁側ラソ・プラザ	伝統野菜を使った料理教室 伝統野菜について学び、調理実演を通じて交流する	10人
7	12/12	地域の縁側グリーン・ラソ	お手軽コーヒー豆焙煎&こだわりの淹れ方講座 家庭でもできる直火焙煎を学び、試飲をしながら交流する	16人
8	1/8-3/19	地域の縁側グリーン・ラソ	グリーン・ラソ杯 将棋囲碁麻雀大会 エントリー制で、制限期間内におけるポイント方式で競い合う	14人
9	3/16	地域の縁側グリーン・ラソ	吉村さんの各駅停車で行く旅の話 旅先で見た城の切絵作成など高齢男性の旅の楽しみ方を聞く	18人
10	3/29	地域の縁側グリーン・ラソ	味噌玉づくり講座 発酵食品の効果など、味噌玉づくりを通して交流する	12人



[担当者のふりかえり]

東浦町内3カ所で居場所(地域の縁側グリーン・ラソ、地域の縁側ラソ・プラザ、あんきにきて家)を展開し、地域に根差した活動を行う(認N)絆との協働により開催した。住民が講師やボランティアとして通いの場に関わることで、新たな参加者につながることもできた。また、新型コロナウイルス感染症対策により、愛知県より中止あるいは人数制限や飲食を伴わない企画へ変更するなどの対応が求められた。(安藤千栄子)

(7)

現場視察研修	実施形態	委託事業(下表参照)	収益	200,450円
			費用	200,450円

[目的]

NPO活動の実践現場へ訪問し、双方向により見聞きすることで、その活動を理解する研修。

[事業内容]

日程	委託団体	研修内容	参加人数
10/16	一宮市市民活動支援センター	オンライン(Zoom)によるバーチャルバスツアー ①知多市市民活動センター/市野恵(サポートちた)、②(N)知多地域成年後見センター/今井友乃、③とまと記念館/江口澄子((N)LET`S食の絆)、長谷川将司(東海市健康推進課)、④(N)ごんのふるさとネットワーク/村上真喜子、安井洋子、榊原宏、⑤南粕谷ハウス/石井久子、今井秀明、江端勝則	8人
11/17	知多市東部地区民生・児童委員	講義①「生活保護制度について」 講師:竹内洋介(知多市福祉課) 講義②「生活福祉資金貸付制度について」 講師:山口尚男(知多市社会福祉協議会) 講義③「地域包括ケアと福祉社会」 講師:岡本一美(日本福祉大学社会福祉学部非常勤講師)	18人

[担当者のふりかえり]

・新型コロナウイルス感染症対策により、見学者を受け入れない現場が多いため、一宮市民活動支援センター主催研修では、最少人数で訪問、Zoomを活用し、現場の声と様子を映像で伝えた。参加者からの質疑を双方向で行うことにより、参加者からは、「臨場感があった」との声があった。

・また、民生委員研修では講義形式による研修を行った。社会保障制度の概要を行政と社協から講義を受け、参加者からは「制度について深く知ることができた。また、市内のコロナ禍における生活保護の実態も聞くことができ、参考になった」との感想があった。(安藤千栄子)



II 情報・交流促進事業

II-1

ニュースレター発行 法人リーフレット発行	実施形態	自主事業	収益	0円
			費用	212,479円

[目的]

地域福祉サポートちたの事業報告・イベント案内・会員団体情報などのほかに、福祉・NPO・市民活動情報等を、会員、学生、行政、社会福祉協議会、市民に発信する。

[事業内容]

発行物	時期・部数	配布先
ニュースレター 「SUPPORT NEWS」	年4回(4月、7月、10月、1月) 各回 350部	会員・会員団体、 愛知県内福祉・協働部署、 愛知県内社会福祉協議会、 愛知県内市民活動センター、 県外NPOセンター各所
法人リーフレット	年1回6月改訂 1500部	



SUPPORT NEWS



法人リーフレット

II-2

WEBサイト管理	実施形態	自主事業	収益	0円
			費用	397,951円

[目的]

当法人の情報発信(事業内容、講座、開催イベント等の広報)を行う。

[事業内容]

URL <https://sunnyday-cfsc.ssl-lolipop.jp/> 年間アクセス数 22,534回(2020/4/1~2021/3/31)



[担当者のふりかえり]

2019年度はトップページのリニューアルを行い、2020年度から下層ページのリニューアルを少しずつ進めている。(久田富二子)

II-3

会員交流会	実施形態	自主事業	収益	52,860円
			費用	160,704円

[目的]

会員の課題解決、活動の方向性を考えるために必要な情報の提供を行うとともに、会員相互の懇親を図り、情報交換の機会をもつことで、NPOの発展に寄与する。



[事業内容]

日程	場所	内容	参加人数
8/26	知多市市民活動センター オンライン併用	「SDGs時代のパートナーシップを語る会」 登壇者:川北秀人(IIIHOE代表者) 村野淳子(別府市役所共創戦略室危機管理課防災推進専門員) 近江正隆((株)ノースプロダクション代表取締役) 栗林知絵子((N)豊島こどもWAKUWAKUネットワーク理事長)	56人

[担当者のふりかえり]

- 各講師はオンラインでの登壇、参加者は会場とオンラインのハイブリッド方式で開催した。川北氏の進行により、各地域での取組を具体的な事例に基づいて話していただく中で、パートナーシップをいかにして作り上げてきたかを学ぶことができた。また、川北氏からは、知多市の高齢者データなどから地域の持続可能性についての課題と方向性が共有された。(伊藤裕)
- 全国の協働事例がまとめられた「SDGs時代のパートナーシップ-成熟したシェア社会における力を持ち寄る協働へ-」(株学文社発行)。川北先生から執筆依頼を受け、岡本さんと一緒に寄稿させていただいたことで、サポートたちがこれまで取り組んできた地域包括ケアをまとめることができた。また、2020年2月6日に東京で行われた出版記念に登壇された皆さまにオファーしたところ、快くお引き受けくださり、知多での開催が実現できた。今後、さらに交流を深めつつ学びあう関係を築きたい。(市野恵)

II-4

会員リーダー研修	実施形態	自主事業	収益	0円
			費用	85,503円

[目的]

ソーシャル・インクルージョン(「全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う」という理念)の考えのもとに地域づくりを学び、ネットワーク交流・親睦を深める機会とする。



[事業内容]

日程	場所	内容	参加人数
2/26	知多市市民活動センター オンライン併用	「0歳から100歳、みんなで支えあう地域福祉計画」 コーディネーター:原田正樹(日本福祉大学副学長) 知多地域8市町の関係者より、地域福祉計画のわがまのちの特長(わがまのちの自慢)を共有し、市町を越えた連携を生み、地域福祉における「私たちの役どころ」を学び合う。	76人

3/12	知多市市民活動センター オンライン併用	「0歳から100歳をみんなで支えあう知多半島」 講師：今井友乃（N）知多地域成年後見センター事務局長） 権利擁護を支える地域連携ネットワークを活用した権利擁護を進める、知多地域成年後見センターの取り組みを共有し、知多地域成年後見制度利用促進計画のポイントを学び合う。	35人
------	------------------------	---	-----

[担当者のふりかえり]

「0歳から100歳をみんなで支え合う」とは、全ての人々が、本人の意思と尊厳が尊重されること。そして、住み慣れた地域で支え合いながら、生きがいを持って地域を共に作っていく地域共生社会の実現であり、これらをビジョンに描き、共に活動を進めてきたことを確認しあうことができた。ここで共有された課題は、地域福祉に関わってくれる、次に続く住民を増やすこと、また、関係各課、関係機関、NPO、事業者、地域住民との他職種連携を進める「コーディネート」を可視化しなければならないという結論に至った。（市野恵）

Ⅲ 調査研究・提言事業

Ⅲ-1

知多市男女共同参画行動計画策定	実施形態	委託事業（知多市子ども若者支援課）	収益	1,758,768円
			費用	1,758,768円

[目的]

「知多市男女共同参画行動計画（知多市ウイズプランⅡ）」が2020年度に終期を迎えることから、2021年度からスタートする「知多市男女共同参画行動計画（知多市ウイズプランⅢ）」を策定する必要があった。知多市ウイズプランⅡの策定に当法人が関わっていること、また、男女共同参画の実現を、市や市民、地域、NPO、事業者が、連携・協働して進めなければならないので、市民やNPOの意見を反映させるため、市と当法人で連携して計画を策定した。



[事業内容]

これまでの各種施策の取組状況を振り返るとともに、2019年度に実施した「男女共同参画住民意識調査」、「知多市の事業経営と女性の活躍に関する調査」、国などの制度改正や社会情勢などの変化なども踏まえ、知多市ウイズプランⅢを策定。だれもが、男女共同参画社会の実現を「自分のこと」と捉え、自分が少し行動すれば改善できるような行動目標を設定した。

項目	内容
知多市男女共同参画行動計画の策定	基本理念：だれもが「自分らしく」生きられる知多市をめざして 第1章 計画の基本的な考え方、第2章 計画の内容、第3章 行動プラン、第4章 行動計画の推進、資料編（用語説明、歴史、関係法令、計画策定の過程、策定検討委員の声）
策定検討委員会の開催	市民や学識経験者で構成された、策定検討委員会を設置 委員会構成：策定検討委員10人、担当課4人、事務局2人 開催場所：知多市市民活動センター、知多市役所 第1回（8/7）委員長・副委員長の選出、男女共同参画の最新動向、知多市ウイズプランⅡ（概要・振り返り）、知多市ウイズプランⅢ（策定体制・スケジュール・骨子・取組項目の作成） 第2回（10/7）知多市ウイズプランⅢ（取組項目・行動プラン） 第3回（11/4）知多市ウイズプランⅢ（案） 第4回（1/26）知多市ウイズプランⅢ（案・パブリックコメント）
成果物（納品）	行動計画書200部、概要版200部



[担当者のふりかえり]

前年度に行った調査の結果や、男女共同参画の活動をする中で感じている課題を、計画の視点に盛り込むことができた（視点①：「自分のこと」と捉えて行動する、視点②：多様性を認める、視点③：男女共同参画について理解する）。しかし、計画はできたからよというわけではなく、着実に実行していく必要がある。計画の策定に関わった者として、計画の実行を見守りつつ、自分自身もできることを進めていきたい。（早川純子）

愛知県NPOと大学・企業連携促進事業	実施形態	委託事業(愛知県社会活動推進課)	収益	1,887,015円
			費用	1,887,015円

[目的]

今後、地域の課題が多様化・複雑化していく中で、様々な課題を解決していくためには、地域の多様な主体が連携・協働して取り組むことが求められている。また、行政や市民活動センター等の職員には、各主体の連携・協働に係るコーディネーターとしての役割が期待されている。そのため、NPOと大学・企業の連携・協働に係る先進事例と、連携・協働に関するニーズを調査し、その結果を県内の市町村等に提供することで、多様な主体による連携・協働を促進する。



[事業内容]

(N) ボランティアネイバーズ、(N) ボラみみより情報局、当法人の三者で構成する、共同事業体あいち協働事業サポートセンターで実施。NPO、大学、企業にアンケート調査を行い、そこで把握された事例からヒアリング調査をし、円卓会議を経て、「NPOと大学・企業連携促進事業調査結果報告書」を作成した。報告書は、アンケート調査の集計結果をはじめ、ヒアリング報告、今回の調査から見えた、連携を促進するための、連携をマネジメントする視点や留意点、行政や市民活動センターの連携コーディネーターとしての役割などの提言を掲載している。

項目	内容
アンケート調査の実施	NPOと大学・企業の連携に関して、連携実績の状況、連携の事例、連携のニーズを明らかにする調査対象…愛知県・名古屋市が所轄するNPO法人(1,978団体)、愛知県内の大学・短期大学(59校)、愛知中小企業家同友会の会員企業(4,188社)、愛知県内に本社等がある企業(130社) 調査項目…団体のミッションとSDGsとの関係、過去3年間の連携実績、連携のきっかけ、連携に対する評価、行政や市民活動センターなどのコーディネート組織に求める役割等
ヒアリング調査の実施	アンケート調査で把握された連携事例から、11の先進的な連携事例について、連携のきっかけや双方の役割分担の状況、課題、効果等についてヒアリング調査を実施
検討委員会の開催	アンケート調査の質問項目の作成や先進事例の選定など各段階において有識者の意見を反映するため、有識者で構成する委員会を設置 委員会構成: 検討委員5人、担当課2人、あいち協働サポートセンター6人 開催場所: あいちNPO交流プラザ 第1回(6/30) 調査概要の説明、アンケート項目・送付先の検討 第2回(9/28) アンケート結果の報告、ヒアリング対象の選定、円卓会議の検討 第3回(1月上旬) ※メールによる個別の意見聴取 「NPOと大学・企業連携促進事業調査結果報告書」(案)の検討
円卓会議の開催	アンケート結果およびヒアリング結果で明らかになった連携に関するNPO・大学・企業のニーズ動向を踏まえ、連携を促進するために有効な取組を検討するため、円卓会議方式による意見交換を開催 日程: 11月27日 場所: あいちNPO交流プラザ 円卓会議構成: ヒアリング対象者7人、検討委員3人、担当課2人、あいち協働サポートセンター6人
調査結果報告書の作成	1.調査の目的と概要、2.ヒアリング報告～連携事例～、3.連携を促進するために、 4.巻末資料 アンケート調査の集計結果
成果物(納品)	NPOと大学・企業連携促進事業調査結果報告書400部



[担当者のふりかえり]

NPOも、大学も、企業も、連携することにより、メリットを得ていることは、調査結果から明らかになった。また、ヒアリング調査の対象者や円卓会議の報告者は、連携事例を話す様子がとても楽しそうで、連携することについて、課題が解決されることだけではない、効果や満足感を得ていることを感じた。現在、連携の実績がない、NPOや企業も、将来的には連携したいと答えている割合は高く、それらが結びつくために、そして連携がうまくいくために、市民活動センターもコーディネーターとしての役割を考えていかなければならない。事業全体を通して、そして、NPO法人三者で連携して実施したことも含めて、いろいろと勉強になった。(早川純子)

Ⅲ-3

「在宅医療・介護連携推進のための研修会のモデル開発」研究プロジェクト	実施形態	委託事業(日本福祉大学地域ケア研究推進センター)	収益	156,725円
			費用	152,937円


[目的]

地域包括ケアにおける多職種研修について、知多半島5市5町の実態を明らかにし、在宅医療・介護連携推進のための研修会のモデル開発を行うこと。

[事業内容]

2019年度の構成メンバーを継承し、実施した。今年度のテーマは、新型コロナウイルス感染症拡大する中での支援機関の現状を共有する場を設け、その内容をニュースレターにまとめ276部を発行、行政・社協・学校・医療・NPO等の関係機関(246カ所)へ発送した。



日程	場所	内容	参加人数
7/10	知多市市民活動センター オンライン併用 	「在宅医療・介護連携推進のための多職種研修を考えるワークショップ」 ファシリテーター: 藤井博之先生(日本福祉大学社会福祉学部教授) 事例報告 ①「コロナ感染症の相談窓口から見た地域の現状」 話題提供者: 中村栄美子(愛知県半田保健所) ②「緊急事態宣言下での地域福祉のニーズの変化」 話題提供者: 前山憲一(半田市社会福祉協議会) 意見交換 テーマ「ウイズコロナのこれからについて」	15人

[担当者のふりかえり]

新型コロナウイルス感染症による影響について、医療と地域の両面から情報提供いただき、共有した。緊急事態宣言が明けての開催だったとはいえ、非常に多忙な時期に参画してくださったメンバーへは感謝の一言に尽きる。市町、機関を超えたこのワークショップの成果を次年度にも生かしていきたい。(市野恵)

Ⅳ 啓発相談事業

Ⅳ-1

講師/各種検討委員等派遣	実施形態	行政	収益	102,460円
			費用	61,577円
		民間	収益	133,500円
			費用	80,100円

[目的]

大学、市民団体、行政等が行う福祉、市民活動支援、まちづくり、協働等へのコーディネート、講師、委員などの派遣を行い、地域福祉や市民活動の活性化を図る。

[事業内容]

	依頼元	日程	内容	派遣者
(1) 大学等講師派遣				
1	日本福祉大学国際福祉開発学部1年	7/17	現代福祉 講義「知多半島のNPOと地域づくり」	市野恵
2	日本福祉大学社会福祉学部1年 (行政・人間福祉/こども・医療)	7/1	現代福祉入門 講義「地域における福祉実践-NPO-」	市野恵
3	日本赤十字豊田看護大学 「ボランティア活動論」	11/24 12/8	みんなの縁がわ訪問 南粕谷ハウス訪問	市野恵
(2) 行政・各種団体講師等派遣				
1	地域たすけあいの会 つどい	6/17	講義「ボランティア活動の基本」	市野恵
2	日本地域福祉学会実行委員会	7/16	日本地域福祉学会開催に向けた勉強会第2回目 団体概要報告	市野恵
3	東大手の会	8/29	NPO/NGOバックオフィス業務 入門研修2020「働き方座談会」	市野恵
4	(N) 中部プロボノセンター	1/16	第8期プロボノメンバー研修 講義「地域福祉とボランティア活動」	市野恵

(3)各種検討委員会等委員派遣		
1	知多メディアネットワーク(株) TV番組審議会(10月書面審議、3月書面審議)	安藤千栄子
2	知多メディアネットワーク(株) FM番組審議会(5月書面審議、9月書面審議、3月書面審議)	市野恵
3	知多北部広域連合 介護保険事業計画推進委員会(5/25書面開催、8/12、10/19、12/21、1/29)	市野恵
4	知多市都市計画マスタープラン策定委員会(7/21、12/4)	市野恵
5	知多市環境審議会(11/12、12/22、2/4)	市野恵
6	知多市特別職報酬等審議会(1/20)	市野恵
7	知多市若者支援地域協議会(6月書面審議)	市野恵
8	知多市ちた人財・志事ツクール推進ネットワーク会議(3/24)	市野恵
9	知多市市民活動センター運営会議(6/3、7/1、8/5、9/2、10/7、11/4、12/2、1/6、2/3、3/3)	山森英津子 早川純子 久田富二子 伊藤裕 市野恵
10	知多市市民活動センター連携会議(4/21、5/19、6/16、6/18、7/10、8/25、9/15、10/13、11/13、12/18、1/29、2/19、3/19)	市野恵
11	愛知県次期あいちビジョン有識者懇談会 県民生活分科会(8/20)	市野恵
12	愛知県次期あいち健康福祉ビジョン策定検討委員会(8/25、12/11、2/17)	市野恵
13	愛知県NPOと行政の協働に関する実務者会議(11/6、1/21)	市野恵
14	尾張旭市自治会等活動促進助成事業候補選定会議(9/3、9/12)	市野恵
15	尾張旭市自治会等活動促進助成事業中間報告会(3月書面)	市野恵
16	みよし市産後ホームヘルプ事業協議会(2/5)	市野恵
17	みよし市みなよし地区拠点施設整備ワークショップ(10/11、11/29)	市野恵
18	みよし市NPOと社会福祉法人連携事業 福祉施設の減災及び、災害時BCP作成研修(3/3)	市野恵
18	(独立)国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金専門委員会議(12/17、3/4)	市野恵
19	生活困窮者自立支援全国研究交流大会 準備会(12/9)、実行委員会(3/12)	伊藤裕 市野恵
20	愛知県市民活動センター情報交流会 実行委員会(7/15、8/27、9/16、10/30、12/25、1/7、3/17)	市野恵
21	(N)ボランタリーネイバーズ 理事会・総会(4/27、5/25、6/21、8/3、10/5、12/7、2/1、3/1)	市野恵
22	(N)あいちNPO市民ネットワーク 理事会・総会(4/28、6/22、7/31、9/30、1/26)	市野恵
23	(N)だいこんの花 理事会・総会(5/16、5/23、12/2)	市野恵
24	(一社)サステナブル・コ・イノベーション・フォーラム(SCIF)理事会・総会(5/26)	市野恵
25	愛知県知多警察署協議会	山森英津子

IV-2

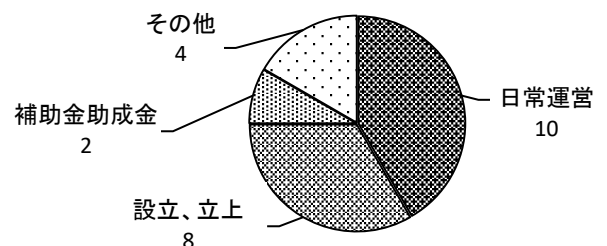
NPO法人設立・運営等相談	実施形態	自主事業	収益	0円
			費用	25,000円

[目的]

NPO法人設立や団体の日常運営、課題解決を支援する。

[事業内容]

電話・FAX・Eメール・来訪などで、計24件の相談に対応した。



IV-3

行政訪問	実施形態	自主事業	収益	0円
			費用	39,333円

[目的]

知多地域基礎自治体とNPOの連携、協働の推進。

[事業内容]

知多市とは年間を通して協働し、事業推進や情報交換を実施している。また、4市5町(半田市、常滑市、東海市、大府市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町)とは、総会后、当該地域の会員団体とともに訪問、事業報告と情報交換を実施した。

日程	訪問先(同行NPO)	
6/8	武豊町企画政策課((N)ゆめじろう)	常滑市安全協働課((N)あかり)
6/11	東海市市民協働課((N)東海市在宅介護家事援助の会ふれ愛)	
6/12	阿久比町政策協働課((N)もやい)	
6/15	大府市協働推進生涯学習課	
6/19	美浜町企画課	南知多町地域振興課
6/25	半田市市民協働課((N)りんりん)	
7/13	東浦町協働推進課((N)絆)	
7/16	知多市市民協働課	

[担当者のふりかえり]

今年度は、会員交流会のテーマ「SDGs時代のパートナーシップ」を提示しつつ、当該市町のNPOリーダーと共に、今後、ますます必要となる地域協働及び庁内連携を呼び掛けた。(市野恵)

V 市民活動支援事業

V-1 市民活動団体事務局支援事業

(1)

手づくりカフェ「Ada-coda」	実施形態	自主事業	収益	930,450円
			費用	1,022,912円

[目的]

誰もが自分色で輝ける場の提供と「食」を通じたコミュニティづくりの応援。

[事業内容①]

ワンデイシェフに登録した一般市民・団体が提供するランチ等の活動をサポート及びコーディネートを行う。

ワンデイシェフ登録数 28人(15団体)、来店人数延べ1066人

日程:通年(9月～2021年3月末)

場所:知多市市民活動センター 交流室

[事業内容②]

内容② シェフ新規開拓のため、あいちの伝統野菜を学ぶ料理講座をあいち在来種保存会との共同開催を行った。

日程:2021年3月22日(月)

場所:東邦ガス プロ厨房オイス(名古屋市港区)

講師:高木幹夫(あいち在来種保存会)

調理実演講師:田中稔(料理研究家)



[担当者のふりかえり]

3月からの緊急事態宣言及びセンターの利用制限により、8月まで休業した。9月からは営業を再開し、換気の徹底やテーブルにパーティションを設置し、飲食店における新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインに沿った営業を行っている。コロナ禍による活動自粛や、また高齢化による活動休止など登録シェフの減少が課題であるが、今後はSNSを活用した広報や、シェフ体験日を設けるなど新規のシェフ獲得に尽力していく。(幸前洋子)

(2)

ベティ基金事務局	実施形態	委託事業((株)R and Tカンパニー)	収益	174,625円
			費用	165,086円

[目的]

制度によらない障がい者福祉活動等社会貢献活動を行うボランティア団体・NPO法人等を応援するベティ基金の助成運用及び広報に係る事務を行うことで、団体支援及び地域交流・活性につなげる。

[事業内容]

日程	場所	内容	担当
6/8、8/12-8/20、12/21-12/25	書面審査	申請書検討会議 助成決定内容は下表のとおり	今井友乃((N)知多地域成年後見センター) 市野恵

[助成決定内容]

助成月	助成決定団体/団体概要	助成事業	助成額
7月	(一社)Soffice(常滑市)/就労支援	さおり織作品の出店料等	3万円
9月	(一社)南知多ユニバーサルビーチプロジェクト(南知多町)/ユニバーサル	障がい児者とその家族を対象としたヨットセーリング体験	8.8万円
	(N)びすた〜り(知多市)/居場所づくり	精神・発達障がいの予防啓発事業におけるタブレット購入	10万円
	(一社)サポートネットゆっか(知多市)/就労体験	知多市外の若者就労体験支援	10万円
	(N)とこっ子(常滑市)/児童発達支援	グレーゾーン及び軽度知的障がいの子どもとその保護者の学びの場の整備	15万円
1月	放課後等デイサービスまるまるね(東海市)/児童発達支援	児童用椅子 パズルマット タブレットの購入	8万円
	SketchBook(東浦町)/「遊び」「療育」「学習支援」での民営型学童	移転による備品整備(プリンター、仮設運営に関わる費用等)	15万円

[担当者のふりかえり]

本年度の検討会議はコロナ感染拡大防止のため、書面審査にて実施。また、交流会は中止した。交流の機会がないことで現場の声を拾いづらい一年だったが、助成先が知多半島全域へと広がり、有意義に活用頂けていることが嬉しく思う。(江端智子)

(3)

事務支援	実施形態	自主事業	収益	125,000円
			費用	115,000円

[目的]

NPO法人等のIT相談、講座運営などの事務関連業務を代行支援する。

[事業内容]

	支援団体	支援内容・日程	担当
1	地域開発みちの会	「Zoom」の使い方講習会(9/9)	伊藤裕、久田富二子
2	悩めるママの一步を応援プロジェクトなやっぼ	HP 構築支援(12/24、1/8、12、15)	久田富二子
3	(N)地域ぐるみで子育て・子育ての会こころん	情報発信講師(12/18、22、1/13、18、27、2/2、8、12、17、19、24、25、27)	久田富二子

[担当者のふりかえり]

今回の支援内容は直接の支援より事前調査に費やす時間の方が多く、作業の進め方に戸惑うことがあった。また、自分のスキル不足も痛感した。(久田富二子)

(4)

物品クラウドファンディング	実施形態	自主事業	収益	28,360円
			費用	28,360円

[目的]

インターネット(Amazon「みんなで応援」プログラムの「ほしい物リスト」)を通して、NPO活動を啓発することにより、共感者を増やし、NPOに必要な物資調達することで団体支援を行う。

※Amazon「みんなで応援」プログラムとは、(一財)非営利組織評価センターが認証するグッドガバナンス認証団体が参加できるアマゾンジャパンの社会貢献活動。



[事業内容]

12/25 アマゾンジャパンに登録申請実施。

1/20～ コロナ感染防止関連の品物(除菌シート等)を掲載。寄付された品物を必要とする会員団体に配布。

3/16～ プログラムの春のキャンペーンに際し、新年度や春休みの団体の活動や、新学期を迎える子どもたちに必要な品物につき会員団体に案内し、申請された品物を掲載。寄付された品物を申請団体に渡す。

[担当者のふりかえり]

AmazonのプログラムがNHKの情報番組で紹介されたこともあり、ほしい物リスト掲載直後に最初の寄付品が届き、その後も継続して寄付を頂くことができています。大半が匿名だが、記名を見ると、当法人とつながりのなかった方で、住所も全国各地からであり、インターネットの力を感じることができた。今後も新しい寄付の形として、継続していく。(伊藤裕)

V-2 知多市市民活動センター支援事業

(1)

市民活動センター管理・相談	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	収益	8,869,300円
			費用	8,869,300円

[目的]

市民・コミュニティ・市民活動団体及び事業者が自発的に行う、共益・公益活動を促進するための事業実施及び機能の充実を図ることにより市民協働のまちづくりに寄与する。

[事業内容] (右表)

①市民活動に関する相談業務

②市民活動のための場所の提供業務

③センター使用料徴収業務

④市民活動に関する情報の収集及び提供業務

- ・行政や市内外の活動団体等からの情報は、交流スペース・ラック・掲示板・ホームページを活用し、発信した。

- ・団体の情報もファイルを整理して発信した。

⑤その他市民活動の推進に必要な業務

- ・waiwai交流会(年2回) センター登録団体を主対象に情報交換会を開催した。

月	稼働日数(日)	①相談(件数)	②場所の提供業務			③使用料徴収業務(件数)
			市民活動室利用(人)	会議室利用(人)	夜間管理(時間)	
4月	29	13	280	0	0	191
5月	28	13	181	0	0	78
6月	30	26	298	433	7.5	79
7月	29	5	311	608	9.5	79
8月	30	6	204	473	13.5	48
9月	28	3	288	539	12.0	77
10月	31	9	300	911	29.0	87
11月	28	7	258	2024	34.0	76
12月	28	4	266	859	40.5	46
1月	27	5	222	513	18.5	58
2月	26	12	226	479	15.0	55
3月	31	5	293	702	35.0	58
計	345	108	3127	7541	214.5	932

waiwai交流会

	日程	テーマ	内容	参加人数
1	7/29	「Zoomを使ってみよう」 ～オンラインでできる市民活動(初級編)～	①Zoomの始め方 ②リモート会議を体験	22人
2	2/9	「Zoomを使いこなそう」 ～オンラインでできる市民活動(中級編)～	①ミーティングホストの基本 ②ちょっと高度なZoomの利用方法	17人



[新型コロナウイルス感染症対策]

期間	会議室1・2・3	その他
2020/3/5-5/31	利用不可	総合案内は通常業務
4/10-5/31		愛知県緊急事態宣言
6/1-9/30	利用可(定員の半数まで) 飲食禁止、利用後の室内・備品等消毒	入館者は氏名・連絡先・健康状態等を記入提出 階段手すり、ドアノブ等の消毒、換気
10/1-2021/1/17	利用可(人数制限解除)	
1/18-2/28	利用可(午後8時までの時間制限)	緊急事態宣言発令
3/1-21	利用可(午後9時までの時間制限)	愛知県厳重警戒措置

(2)

市民活動センター清掃	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	収益	879,978円
			費用	879,978円

[目的]

障がいの有無に関わらず、働く意欲のある人への就労の場の提供およびそのコーディネート。

[事業内容]

週5日のセンター館内の清掃業務(年間253日)及び清掃具・消耗品の管理。

(3)

まちづくり人材育成事業	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	収益	266,735円
			費用	274,585円

[目的]

新型コロナウイルス感染症下における「新しい生活様式」の導入に伴い、市民活動も同様の対応を求められていることから、オンラインによる学びと交流の機会を提供し、積極的にまちづくりに関わる人材を育成する。

[事業内容]

市民が市民を育てるまちづくりの総合拠点、知多市市民活動センターを共同運営する三者(総合ボランティアセンター、(N)市民大学ちた塾、当法人)が「本事業共同事業体協定」を締結し、月1回の企画運営会議を行い、以下のスケジュールで実施した。当法人は、講座全体の事務局及び9月26日の企画を担当。

	日程	内容	講師	参加人数
1	9/5	(開校式) 講義「オンラインでできること、オンラインソフトの使い方」 演習「ZoomアプリのダウンロードとZoom参加方法」	大嶋宣人 ((有)ワンクリックアイティ 代表取締役) 鈴木宏樹、新美和紀 (知多メディアネットワーク(株))	18人
2	9/26	体験「ウクライナ料理を作ってみよう！」 講義「ウクライナの伝統や文化の紹介」 講義「ワンデイシェフってなあ～に？」	川口リュドミラ(Ada-coda登録シェフ) 安藤千栄子(Ada-codaコーディネーター)	14人
3	10/10	講義「大人のラジオ体操」 体験「ラジオ体操」	生田祐江(総合ボランティアセンター登録ボランティア)	14人
4	10/31	講義「認知症とアロマセラピー」 体験「精油を使って好みのアロマ作り」	杉江めぐみ(市民大学ちた塾登録講師)	16人
5	11/14	(閉校式) 講義「人生100年時代～安全な老後を迎えるために～」 市民活動センターの紹介	貴田康裕(安藤証券(株))	15人



[担当者のふりかえり]

地域を担う次世代の人材育成を目指して、三者のコンソーシアムにてプログラムを提供した。オンライン導入に当たり、知多メディアス・ネットワーク(株)のサポート体制により、運営者である私たちもオンラインの仕組みを理解することができた。非対面では得られない安心感を補うため、講座運営当日の他に、開催日以外も丁寧なフォローが必要だった。参加者からは、次へのステップアップを望む声が多くあり、waiwai交流会へつないだ。(市野恵)

(4)

まちづくり促進事業(協働のまちづくり講座)	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	収益	242,000円
			費用	249,851円

[目的]

支援の輪を広げ、課題解決のため、より多くの人々の共感を呼ぶことができる「情報発信」をポイントに、4回シリーズでNPOの基礎を学ぶ。



[事業内容]

	日程	内容	講師	参加人数
1	2/20	「NPOあれこれ編」 法人事務から見るNPOの基礎について	市野恵((N)地域福祉サポートちた代表理事)	15人
2	2/27	「ゲストトーク編」 環境活動から見るNPOの活動について	高山博好((N)びすた〜り代表理事)	11人
3	3/6	「伝わる広報術編」 チラシの広報・情報発信の基礎について	織田元樹((N)ボラみみより情報局代表理事)	16人
4	3/13	「SNS広報術編」 SNSの広報・情報発信の基礎について	青木研輔((N)ボランティアネイバーズ)	14人

[担当者のふりかえり]

近年主流になりつつあるSNSでの情報発信の基本である、「相手に何を伝えるのか」とそのリスクを学ぶことができた。知多市市民活動センター開設当初から毎年開催してきた講座も今回で終了となった。新たな学びの場を確保していきたい。(市野恵)

(5)

地域活動担い手育成事業	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	収益	516,912円
			費用	516,912円

[目的]

地域活動を担う人材の養成に係る講座の実施により、地域を担う人材のリーダーシップ、ファシリテーション及びコーディネーター等のスキルアップを図る。また、受講者が他地域の住民及び市民活動団体と交流し、つながりを醸成することで、地域活動の円滑化を図るとともに、新たな取り組みの創出及び既存事業の改革などを推進できる体制をつくる。

[事業内容]

会計の規範づくりとその業務上の課題解決ができるよう、文章の取り扱い等、情報の整理の仕方をはじめ、事務を進めていく上でのファシリテーションのスキルに着目しつつ、単式簿記による日々の会計処理のポイントを伝える研修を実施。

受講対象:次年度コミュニティ役員(市内小学校10地区)

開催場所:知多市市民活動センター会議室



日時	講師	内容	参加人数
2/28	篠原辰二 ((一社)Wellbe Design)	コミュニケーションのスキルアップと地域住民の主体的な参画を促し、地域活動を円滑に進めるためのファシリテーションについて、演習を通して学ぶ。	15人
3/7		演習を通じて、具体的に地域活動を進めていくためのコミュニケーションの必要性を体得する。	15人
3/14	森建輔 ((一社)SR連携プラットフォーム)	地域活動のための会計業務の基本を、日々の入出金管理と書類整理のポイントを中心に学ぶ。	10人

[担当者のふりかえり]

ファシリテーション力を身に付けるために対面形式を優先したが、新型コロナウイルス感染症対策のため、参加は次年度役員限定となった。研修では、コミュニケーションが取れない状況下での意思疎通ゲームを体験したことで、日々実務の課題を認識、より実践的な研修となった。(市野恵)

(6)

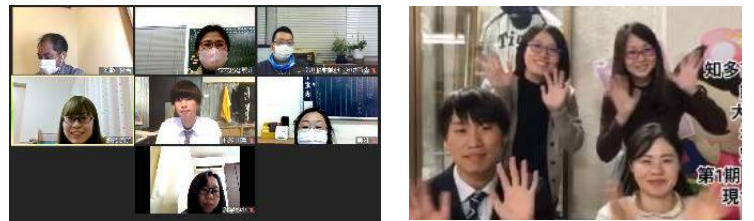
若者チャレンジ支援事業「ちた未来塾」	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	収益	770,000円
			費用	770,000円

[目的]

地域の未来を担う若い人たちを対象に、講座・体験・実践活動等を通じて、すでに地域活動を実践している先輩たちと共に学ぶことで、将来、積極的にまちづくりに参加できる人材を育成する。参加者が次年度以降の本事業の企画等に携わることができる循環型の人材育成事業になることを最終目的とする。

[事業内容]

入塾:9人(高校3年生1人・大学2年生8人)
構成:14回(塾10回、研修・ミーティング4回)
参加人数:延べ108人



塾の開催 (開催地については新型コロナウイルス感染症対策のため、市民活動センターとオンラインとの併用)

	日程	内容	参加人数
1	9/8	ネーミング及びテーマの企画会議	8人
2	9/16	自己紹介&暮らしの中で気になることトーク	8人
3	9/19		6人
4	10/14	10年後(未来)の自分の暮らしを想像してみよう	12人
5	10/17		4人
6	11/11	知多市って、どんなところかを考えてみよう	6人
7	11/21		7人
8	12/9	ゲストトーク①「僕の人生の歩き方」 ゲスト:森戸力(社会起業家(元第1期塾生))	8人
9	12/19	ゲストトーク②「介護から得た学び」 ゲスト:山口正昭((N)ゆいの会)	7人
10	1/13	ゲストトーク③「第2次知多市観光振興計画と観光」 ゲスト:畠大喜(知多市商工振興課)	8人

研修及び、ミーティングの開催

	日程	場所	内容	参加人数
1	6/13	オンライン	塾長との打ち合わせ	4人
2	6/13	オンライン	塾長との打ち合わせ報告、企画検討	9人
3	6/14	知多市市民活動センター(オンライン併用)	ファシリテーション研修 講師:水谷香織(パブリック・ハーツ(株))	10人
4	8/28	知多市市民活動センター	進め方の打ち合わせ	4人
5	3/13	当法人事務所(オンライン併用)	ふりかえりと次年度に向けての意見交換	7人

実施体制	塾長	吉村輝彦(日本福祉大学国際福祉開発学部教授)
	サポーター (7人)	森戸力(社会人・元1期生)、鈴木友梨(社会人・元第1期生)、岡田侑樹(社会人・元第2期生)、松井敬子(社会人・元第2期生)、坂口寛知(社会人・元第3期生)、坂本実穂(大学生・元第3期生)、犬飼ひかる(社会人・元第3期生)
	担当課職員	杉浦理恵、加藤隆一
	事務局	山森英津子、江端智子、久田富二子、市野恵

[担当者のふりかえり]

サポーターの自主制作、ちた未来塾プロモーション映像(写真右)が完成。5年目の成果だろう。オンラインは、参加の幅が広がった反面、気軽に休む人が多く、その結果、ごちみなさが残った。これを踏まえて、次年度は、参加する若者の主体性を引き出せる企画を提供したい。(市野恵)

VI 会議の開催に関する事項

	会議名	内容	参加者	場所・日程
1	通常総会	定款の定めるところによる通常総会開催	会員 38 人 (委任状含)	知多市市民活動センター 5/28
2	理事会	定款の定めるところによる理事会開催	理事	知多市市民活動センター、当法人事務所 5/18、6/1、9/23、11/16、3/15(年6回)
3	常務理事会	理事会の議決に基づく常務理事会の開催	理事	当法人事務所 7/20、1/18(年2回)
4	監査	定款の定めるところによる監査	監事	当法人事務所 5/12
5	担当者ミーティング	①福祉人材育成グループ ②総務グループ ③Ada-coda グループ	各担当者	当法人事務所 ①4/20、5/8、6/12、7/16、8/25、11/20、2/10、3/16 ②4/16、6/1、6/18、7/13、9/14、8/18、12/14、1/13、3/2、3/25 ③6/5、7/6
6	スタッフミーティング	事業進捗報告・共有 市民活動センター事業の改善	スタッフ全員	当法人事務所 4/6、5/11、6/1、7/6、8/3、9/7、10/13、11/9、12/7、1/12、2/1、3/8(月1回)

その他実績

	日にち	研修名など	〈開催場所等〉	
4月	10日	新型コロナウイルス対策愛知県緊急事態宣言 4/10～5/31迄		
	27日	(N) ボランティアネイバーズ 理事会	〈オンライン〉	
	28日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター 理事会	〈みよし市市民活動センター〉	
5月	16日	(N) だいこんの花 理事会	〈ラディッシュ〉	
	19日	NPOおたがいさま会議	〈オンライン〉	
	23日	(N) だいこんの花 総会	〈ラディッシュ〉	
	25日	(N) ボランティアネイバーズ 理事会	〈オンライン〉	
	26日	サステイナブル・コ・イノベーション・フォーラム 理事会/総会	〈オンライン〉	
		NPOおたがいさま会議	〈オンライン〉	
6月	30日	ふわりんくる～じょんSD～感染症が当たり前にある時代に暮らす～	〈オンライン〉	
	3日	VNS「新型コロナウイルス感染症」による愛知県内のNPOへの影響調査報告	〈オンライン〉	
	8日	行政訪問	〈武豊町、常滑市〉	
	9日	知多市 朝倉団地センタープレイス会議	〈知多市〉	
	11日	センター植栽ボランティア	〈知多市市民活動センター〉	
	11日	行政訪問	〈東海市〉	
	12日	行政訪問	〈阿久比町〉	
	15日	行政訪問	〈大府市〉	
	17日	日本福祉大学 第3回地域福祉計画担当者研修	〈オンライン〉	
	19日	行政訪問	〈美浜町、南知多町〉	
	21日	(N) ボランティアネイバーズ 総会	〈オンライン〉	
	22日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター 総会	〈みよし市市民活動センター〉	
	24日	JCNE評価・認証制度説明会	〈オンライン〉	
	25日	行政訪問	〈半田市〉	
	29日	全国事務支援カンファレンス 総会	〈オンライン〉	
	7月	2-3日	(N) 知多地域成年後見センター主催、北九州抱樸視察研修	〈認定NPO法人抱樸〉
		4日	熊本豪雨災害	
13日		行政訪問	〈東浦町〉	
15日		愛知県内市民活動センター連絡会打合せ	〈オンライン〉	
16日		日本地域福祉学会 勉強会	〈オンライン〉	
		行政訪問	〈知多市〉	
21日		知多市 都市計画マスタープラン策定委員会	〈知多市〉	
		(N) セカンドハーベスト名古屋を支える会 全体会	〈オンライン〉	
22日		知多市 市制50周年記念要覧掲載記事取材	〈法人事務所〉	
29日		グッドガバナンス認証団体オンライン交流会vol.01	〈オンライン〉	
31日		(N) あいちNPO市民ネットワークセンター 理事会	〈みよし市市民活動センター〉	
		(N) セカンドハーベスト名古屋を支える会 全体会	〈オンライン〉	
8月		3日	(N) ボランティアネイバーズ 理事会	〈オンライン〉
	6日	愛知県緊急事態宣言 8/6～8/25迄		
	12日	知多北部広域連合 介護保険事業計画推進委員会	〈しあわせ村〉	
	19日	日本福祉大学地域ケア研究推進センター「地域福祉計画担当者研修会」	〈オンライン〉	
	20日	NPO夏期講習～NPO事務力アップセミナー～((N) 岡山NPOセンター主催)	〈オンライン〉	
	20日	愛知県 次期あいちビジョン県民分科会	〈オンライン〉	
	25日	愛知県 次期あいち健康福祉ビジョン策定検討委員会	〈県本庁正庁〉	
	27日	あま市市民活動センター主催 県内支援センター情報交流会2020	〈オンライン〉	
	29日	東大手の会主催「子育て世代のNPO/NGOバックオフィス業務入門研修2020	〈名古屋市〉	
	9月	3日	尾張旭市 自治会等活動促進助成事業候補選定会議事前打ち合わせ会	〈尾張旭市〉
12日		尾張旭市自治会等活動促進助成事業候補選定会議	〈尾張旭市〉	
12日		伝わるチラシ！コンテストvol.1.5 (名古屋市/イーパーツ/ボラみみ主催)	〈オンライン〉	
16日		愛知県内NPO支援センターオンライン交流会実行委員会 振り返り会	〈オンライン〉	
30日		(N) あいちNPO市民ネットワークセンター 理事会	〈みよし市市民活動センター〉	

	日にち	研修名など	〈開催場所等〉
10月	5日	(N) ボランティアネイバーズ 理事会	〈オンライン〉
	7日	休眠預金研修活用助成金セミナー参加	〈オンライン〉
	11日	みよし市 みなよし地区拠点施設整備ワークショップ	〈明知上公民館〉
	19日	介護保険事業計画推進委員会	〈東海市立市民活動センター〉
	29日	リンクちた（松下さん）との対談	〈法人事務所〉
	30日	愛知県内市民活動センター連絡会打合せ	〈オンライン〉
11月	2日	(N) ボランティアネイバーズ 理事会	〈オンライン〉
	5日	知多市 若者支援地域協議会全体実務者会議	〈知多市青少年センター〉
	6日	愛知県 第3回NPOと行政の協働に関する実務者会議	〈あいちNPO交流プラザ〉
	12日	知多市 環境審議会	〈知多市役所〉
	13日	市民活動センター花苗植替	〈知多市市民活動センター〉
	29日	みよし市 みなよし地区拠点施設整備ワークショップ	〈明知上公民館〉
12月	2日	(N) だいこんの花 理事会	〈ラディッシュ〉
	4日	知多市 都市計画マスタープラン策定委員会	〈知多市役所〉
	7日	(N) ボランティアネイバーズ 理事会	〈オンライン〉
	9日	第8回生活困窮者支援研究交大会（第1回愛知実行委員）	〈オンライン〉
	11日	愛知県 健康福祉ビジョン策定検討委員会	〈県本庁正庁〉
	16日	知多市 特別職報酬等審議会	〈知多市役所〉
	17日	子どもゆめ基金専門分野審議委員会（（独行）国立青少年教育振興機構）	〈オンライン〉
	21日	知多北部広域連合介護保険事業計画推進委員会	〈しあわせ村〉
	22日	知多市 環境審議会	〈知多市役所〉
	1月	6日	東邦ガス株式会社 プロ厨房オイシス 事前見学会
10日		こども発達サポートセンターじゃんぽっふ 開所式	〈知多市大興寺〉
14日		新型コロナ特別措置法に基づく緊急事態宣言発令（～2月7日迄）	
14日		地方創生SDGs国際フォーラム2021	〈オンライン〉
20日		知多市 特別職等報酬審議会	〈知多市役所〉
21日		愛知県 第4回NPOと行政の協働に関する実務者会議	〈あいちNPO交流プラザ〉
26日		NPO法人あいちNPO市民ネットワークセンター理事会	〈みよし市市民活動センター〉
29日		知多北部広域連合介護保険事業計画推進委員会	〈しあわせ村〉
2月		1日	NPO法人ボランティアネイバーズ理事会
	4日	知多市 環境審議会	〈知多市役所〉
	5日	みよし市 産後ホームヘルプ事業協議会	〈みよし市市民活動センター〉
	7日	愛知県内市民活動センター連絡会打合せ	〈オンライン〉
	8日	新型コロナ特別措置法に基づく緊急事態宣言 延長（～2月28日迄）	
	8日	労働法セミナー	〈オンライン〉
	10日	あいちCOMPASS 相談対応	〈法人事務所〉
	17日	愛知県 健康福祉ビジョン策定委員会	〈県本庁正庁〉
	3月	1日	愛知県新型コロナ感染症 第3波終息に向けた厳重警戒措置（～3月14日迄）
1日		NPO法人ボランティアネイバーズ理事会	〈オンライン〉
3日		NPO法人ボラみみより情報局「コロナ禍の影響」ヒアリング	〈オンライン〉
4日		子どもゆめ基金専門分野審議委員会（独行）国立青少年教育振興機構	〈オンライン〉
10日		日福大全学教育センター主催FD「多職種連携教育の推進と実践」	〈オンライン〉
17日		愛知県内市民活動センター連絡会打合せ	〈オンライン〉

2020 年度決算報告



- 活動計算書
- 計算書類の注記
- 貸借対照表
- 財産目録
- 備品台帳

令和 2 年度
活動計算書

令和 2年4月1日 から 令和 3年3月31日 まで

特定非営利活動法人 地域福祉サポートちた

(単位 :円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
1) 受取入会金	40,000	
2) 受取会費	688,000	728,000
		0
2. 受取寄付金		
1) 一般寄付金	52,000	
2) その他寄付金	73,711	125,711
		0
3. 受取助成金等		
1) 民間補助金		
2) 国・地方補助金	2,123,000	2,123,000
4. 事業収益		
1) 自主事業収益		9,362,305
2) 受託事業収益		
① 民間委託事業収益	1,700,480	
② 公共委託事業収益	17,338,878	19,039,358
		28,401,663
5. その他収益		
1) 受取利息	123	
2) 雑収入	6,414	6,537
経 常 収 益 計		
		31,384,911
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
賃金給料	15,147,589	
法定福利費	745,483	
福利厚生費	407,425	
人 件 費 計	16,300,497	
(2) その他経費		
売上原価	762,370	
講師料	2,840,660	
旅費交通費	50,980	
通信運搬費	557,399	
交際接待費	2,382	
保険料	250,254	
燃料費	21,174	
消耗品費	795,687	
租税公課	1,840,400	
施設利用料	395,657	
支払手数料	294,690	
新聞図書費	120,900	
印刷費	118,991	
会議費	34,056	
リース料	398,110	
教材費	803,240	
実習費	708,114	
委託費	724,100	
基金寄付金	13,660	
雑費	43,774	
そ の 他 経 費 計	10,776,598	
事業費 計		27,077,095

2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	225,000		
法定福利費	7,530		
福利厚生費	66,805		
人 件 費 計	299,335		
(2) その他経費			
講師料	3,000		
旅費交通費	0		
通信費	35,113		
交際費	16,028		
保険料	59,374		
修繕費	93,600		
燃料費	3,447		
消耗品費	19,842		
租税公課	600		
施設利用料	15,681		
宣伝広告費	3,800		
支払手数料	15,510		
諸会費	68,000		
新聞図書費	8,290		
印刷費	0		
会議費	7,968		
リース料	17,742		
研修費	59,260		
雑費	15,535		
そ の 他 経 費 計	442,790		
管 理 費 計		742,125	
経 常 費 用 計			27,819,220
当期経常増減額			3,565,691
税引前当期正味財産増減額			3,565,691
法人税・住民税及び事業税額			71,000
当期正味財産増減額			3,494,691
前期繰越正味財産額			19,697,845
次期繰越正味財産額			23,192,536

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO会計基準(2017年12月17日改正、NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産は法人税法の規定に基づく定率法(但し建物は定額法)

無形固定資産は定額法

(3) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込経理によっています

2. 事業損益の状況

科 目	1) 人材育成・研修事業		2) 情報交流 促進事業	3) 調査研究 提案事業	4) 啓発相談 事業	5) 市民活動 支援事業	事 業 合 計	法人管理 部 門	合 計
	福祉人材 育成事業	NPO人材 育成事業							
I. 経常収益									
1. 会費収益						11,000	11,000	717,000	728,000
2. 寄付金収益						28,360	28,360	97,351	125,711
3. 補助金収益		0				0	0	2,123,000	2,123,000
4. 事業収益	8,236,430	3,311,340	52,860	3,802,508	235,960	12,762,565	28,401,663		28,401,663
5. その他収益						1,435	1,435	5,102	6,537
小 計	8,236,430	3,311,340							
経常収益合計	11,547,770		52,860	3,802,508	235,960	12,803,360	28,442,458	2,942,453	31,384,911
II. 事業費									
(1) 人件費									
給料手当	1,687,875	1,280,500	335,000	2,625,040	120,000	9,099,174	15,147,589	225,000	15,372,589
法定福利費	90,362	60,241	15,060	120,482	7,530	451,808	745,483	7,530	753,013
福利厚生費	57,946	44,161	8,905	58,572	4,153	233,688	407,425	66,805	474,230
人件費計	1,836,183	1,384,902	358,965	2,804,094	131,683	9,784,670	16,300,497	299,335	16,599,832
(2) その他経費									
売上原価						762,370	762,370		762,370
講師料	1,765,736	397,647	141,801	225,320	0	310,156	2,840,660	3,000	2,843,660
旅費交通費	5,310	3,790	0	28,500	8,880	4,500	50,980	0	50,980
通信運搬費	78,917	18,148	124,711	306,328	3,618	25,677	557,399	35,113	592,512
交際接待費	0	0	0	2,382	0	0	2,382	16,028	18,410
保険料	181,147	29,237	7,974	2,658	3,987	25,251	250,254	59,374	309,628
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	93,600	93,600
燃料費	7,140	4,678	492	739	6,155	1,970	21,174	3,447	24,621
消耗品費	191,444	205,630	34,474	121,494	9,992	232,653	795,687	19,842	815,529
租税公課	401,940	129,690	0	274,250	18,270	1,016,250	1,840,400	600	1,841,000
施設利用料	211,648	43,577	9,817	6,529	3,109	120,977	395,657	15,681	411,338
宣伝広告費	0	0	0	0	0	0	0	3,800	3,800
支払手数料	139,590	58,938	18,612	9,306	9,306	58,938	294,690	15,510	310,200
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	68,000	68,000
新聞図書費	0	45,000	55,000	1,100	0	19,800	120,900	8,290	129,190
印刷費	0	51,260	62,791	0	0	4,940	118,991	0	118,991
会議費	0	8,120	18,881	1,930	0	5,125	34,056	7,968	42,024
リース料	220,682	67,422	21,291	10,646	10,646	67,423	398,110	17,742	415,852
研修費	0	0	0	0	0	0	0	59,260	59,260
教材費	803,240	0	0	0	0	0	803,240	0	803,240
実習費	178,114	530,000	0	0	0	0	708,114	0	708,114
委託費	0	298,100	0	0	0	426,000	724,100	0	724,100
基金寄付金	0	0	0	0	0	13,660	13,660	0	13,660
雑費	24,950	6,264	1,828	3,444	364	6,924	43,774	15,535	59,309
その他経費計	4,209,858	1,897,501	497,672	994,626	74,327	3,102,614	10,776,598	442,790	11,219,388
小 計	6,046,041	3,282,403							
事業費合計	9,328,444		856,637	3,798,720	206,010	12,887,284	27,077,095	742,125	27,819,220
当期増減額	2,219,326		△ 803,777	3,788	29,950	△ 83,924	1,365,363	2,200,328	3,565,691

3. 役員及びその近親者との取引の内容

給料手当には使用人兼務役員分も含まれますが、支給対象者が少ないため個人情報保護の観点から金額の明示を省略しています。

科 目	財務諸表に計上された金額	内役員及び近親者との取引
活動計算書 事業費 人件費 給料手当	15,147,589	
活動計算書 管理費 人件費 給料手当	225,000	
合 計	15,372,589	0

4. 固定資産の増減内訳

科 目	期首取得価額	取 得	減 少	期末取得価額	減価償却累計	期末帳簿価額
建物				0		0
建物付属設備				0		0
構築物				0		0
機械装置				0		0
車両運搬具	1,271,879			1,271,879	1,271,878	1
器具備品	1,158,449			1,158,449	1,158,449	0
その他				0		0
合 計	2,430,328	0	0	2,430,328	2,430,327	1

用途が制約された寄付等の内訳は以下のとおりです。当法人の正味財産は23,192,536 円ですが、そのうち用途が制約された財産はありません。

内容	前期繰越額	当期受入額	当期減少額	次期繰越額	備考
ベティ基金助成金	0	698,500	698,500	0	入出金は仮受金にて計上
	0			0	
	0			0	
合 計	0	698,500	698,500	0	

令和 2年度
特定非営利活動事業会計 貸借対照表

令和 3年3月31日 現在

特定非営利活動法人 地域福祉サポート ちた

(単位 :円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金	17,574,818		
仮払金	990		
前払費用	45,197		
未収入金	8,113,190		
貯蔵品	12,532		
流動資産合計		25,746,727	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
車両運搬具	1,271,879		
減価償却累計額	△ 1,271,878	1	
工具器具備品	1,158,449		
減価償却累計額	△ 1,158,449	0	
有形固定資産合計		1	
(2) 無形固定資産			
電話加入権	86,590		
無形固定資産合計		86,590	
(3) 投資その他の資産			
預託金	9,930		
長期前払費用	188,942		
投資その他の資産合計		198,872	
固定資産合計		285,463	
資産合計			26,032,190
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,457,037		
前受金	10,000		
預り金	291,417		
未払法人税等	71,000		
未払消費税等	1,010,200		
流動負債合計		2,839,654	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			2,839,654
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		19,697,845	
当期正味財産増加額		3,494,691	
正味財産合計			23,192,536
負債及び正味財産合計			26,032,190

令和 2年度
特定非営利活動事業会計 財産目録

令和 3年3月31日 現在

特定非営利活動法人 地域福祉サポート ちた

(単位 :円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金(本部)	168,674		
現金(あーだこーだ)	147,191		
普通預金 UFJ銀行 知多支店	7,843,983		
普通預金 UFJ銀行 知多支店	1,450,264		
普通預金 UFJ銀行 知多支店	4,293,781		
普通預金 JA知多 新知支店	20,190		
普通預金 知多信用金庫 知多支店	76,736		
通常貯金 郵貯銀行	63,017		
振替用口座 郵貯銀行	3,510,982		
現金預金合計		17,574,818	
貯蔵品			
切手		12,532	
前払費用			
会議室等利用料令和3年度分		45,197	
未収入金			
市民活動相談支援費 知多市	2,160,500		
市民活動センター日常清掃費 知多市	222,978		
市民活動センター夜間管理費 知多市	228,800		
知多市地域活動担い手育成事業委託料	516,912		
高齢者地域C促進受託料 愛知県	1,907,000		
協働まちづくり促進事業受託料 知多市	242,000		
介護職員初任者研修受託料 日福大	2,835,000		
未収入金合計		8,113,190	
流動資産合計			25,746,727
2 固定資産			
車両運搬具 別紙備品台帳		1	
工具器具備品 別紙備品台帳		0	
電話加入権 0562-33-8658	41,790		
0562-33-1631	44,800		
電話加入権合計		86,590	
預託金			
リサイクル預託金(タント)	9,930		
預託金合計		9,930	
長期前払費用			
逦増定期保険料前払部分	188,942		
長期前払費用合計		188,942	
固定資産合計			285,463
資産合計			26,032,190

II 負債の部				
1 流動負債				
未払金				
3月分給与	1,352,715			
3月分通勤費	40,512			
その他郵送料金等	63,810			
未払金合計		1,457,037		
前受金				
翌年度年会費前受金	10,000			
前受金合計		10,000		
預り金				
源泉所得税	179,073			
社会保険料本人負担額	99,144			
市県民税	13,200			
預り金合計		291,417		
未払消費税等		1,010,200		
未払法人税及び住民税		71,000		
流動負債合計			2,839,654	
2 固定負債				
固定負債合計			0	
負債合計				2,839,654
正味財産				23,192,536

備 品 台 帳

特定非営利活動法人 地域福祉サポーターたち

令和3年3月31日

台帳NO	品名	取得年月	取得価額	耐用年数	償却率	期首価額	当期償却額	減価償却累計額	期末簿価	備考
3	プロジェクター	H21.3.25	229,800					229,800	0	措置法特例
4	吸引シミュレータ	H24.12.21	128,760					128,760	0	措置法特例
5	軽管シミュレーション器具セット	H24.12.21	207,060					207,060	0	措置法特例
6	パソコン 富士通	H25.3.25	144,000					144,000	0	措置法特例
7	タント	H26.1.6	1,271,879	4年	0.500	1		1,271,878	1	
8	プロジェクター	H28.3.17	200,000					200,000	0	措置法特例
9								0	0	
10								0	0	
11								0	0	
12									0	
13									0	
14									0	
			2,181,499			1	0	2,181,498	1	

2021年度 特定非営利活動法人地域福祉サポートちた役員名簿

	役職	氏名	所属
1	理事	あらかき まきお 荒木 麻貴臣	特定非営利活動法人だいこんの花 旭南事業所 管理者
2	理事	いまい とも 今井 友乃	特定非営利活動法人知多地域成年後見センター 理事長
3	理事	おかざき よしこ 岡崎 佳子	日本福祉大学東海事務室 地域連携コーディネータ
4	理事	しもむら かずみ 下村 一美	認定特定非営利活動法人ゆいの会 代表理事
5	理事	でぐち しん 出口 晋	特定非営利活動法人ゆめじろう 理事長
6	理事	ど ひ 土肥 りさ	特定非営利活動法人P a k a P a k a 事務局長
7	理事	はまだ かずえ 濱田 和枝	特定非営利活動法人あかり 代表理事
8	理事	みしま ちとせ 三島 知斗世	特定非営利活動法人ボランティアネイバーズ 副理事長
9	理事	やまざき きえこ 山崎 紀恵子	認定特定非営利活動法人絆 代表理事
10	理事	わたなべ ちえ 渡邊 千恵	特定非営利活動法人りんりん 理事長
11	理事	いちの めぐみ 市野 恵	特定非営利活動法人地域福祉サポートちた 代表理事
12	監事	いわた みつとし 岩田 光寿	元 知多市職員
13	監事	やざわ ひさこ 矢澤 久子	認定特定非営利活動法人ネットワーク大府 理事長

(順不同、敬称略)

特定非営利活動法人地域福祉サポートちた定款変更

現状と相違による変更事項

定款の内容で現状と合わなくなっている個所に関して、5月17日開催の理事会において審議された以下の変更点を提案します。

1、定款第6条（種別）

変更理由：法人運営円滑のため種別を追加する

変更前	変更後
<p>(種別) 第6条 この法人の会員は、次の2種とし、正会員をもって特定非営利活動促進法（以下「法」という。）上の社員とする。</p>	<p>(種別) 第6条 この法人の会員は、次の<u>通り</u>とし、正会員をもって特定非営利活動促進法（以下「法」という。）上の社員とする。</p> <p><u>2 本定款に定める以外の会員に関する規定は理事会で別に定める。</u></p>

2、定款第16条（任期等）

変更理由：法人運営円滑のため役員任期を定める

変更前	変更後
<p>(任期等) 第16条 3 役員は、辞任又は任期満了においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。</p>	<p>(任期等) 第16条 3 役員は、<u>前2項の規定にかかわらず、任期満了日の属する事業年度の前事業年度終了後、最初に開催される総会において、任期満了日前に後任の役員が選任された場合には、当該総会が終結するまでを任期とし、また、後任者が選任されていない場合には、任期の末日後、最初に開かれる通常総会が終結するときまで、その任期を伸長する。</u></p>

3、附則

変更前	変更後
	<p><u>附則</u> この定款は、愛知県知事の認証を受けた日（令和 年 月 日）から施行する。</p>

2021年度事業計画/予算



- 事業計画書
- 活動予算書
- 部門別予算書

事業計画書

一、活動方針

1、2025 年ビジョン

—0～100 歳の地域包括ケア実現のために—

2025 年ビジョン (令和 7 年)	<u>0～100 歳の地域包括ケアのまちづくり</u> 活発な市民活動を基盤に、専門機関と連携した地域のセーフティーネットが整い、高齢者はもとより、生活に困難を抱えるあらゆる世代の社会的弱者を包摂する、地域包括ケアのまちづくりが進んでいる。
------------------------	---

2、今年度の取り組み

① 市民活動拠点機能の強化

住民や自治会等の地縁組織、ボランティア、NPO、社会福祉協議会、企業等の多様な主体の参画を促すよう、市民活動センターの役割を改めて確認し、機能強化を図る。

② 若者が地域で活躍する人づくり

地域づくりに関心を持ち、NPO への参画を促すよう、オンライン化の導入も視野に入れた NPO 現場フィールドワークの展開を行う。

③ 地域を支え活躍する人づくり

愛知県委託事業「高齢者地域コミュニティ参加促進事業」にて、居場所（通いの場）を実施することにより、独居高齢者や男性の参加が進まない、参加者の固定化などの課題を解決する。また、参加を促すコーディネーターの役割を整理し、その育成に向けたモデル構築に寄与する。

3、組織運営

① 安心安全な雇用環境を継続させ、雇用拡充を目指す

- ・OJT による人材育成に努め、事業推進力・事務管理能力の向上に力点を置く
- ・スタッフミーティング、事業担当別の事務局会議を開催すると同時に、法人が目指すビジョンとミッションの共有を図る

② 会員や関係組織とコミュニケーションを図る

- ・積極的に現場へ出向き、会員との情報共有を進めながら、地域の現状把握に努める
- ・ボランティアやインターンシップを積極的に受け入れ、ネットワークの拡大を図る

③ 会費・寄付金の拡大を図る

事業推進による資金獲得及び組織基盤強化による信用を高め、NPO 経営の基本である会員拡大をすすめる

④ 方針決定機関としての理事会の機能を高め、的確な情勢判断、方針づくり、事業実施をすすめる

二. 特定非営利活動

	収入予定額	支出予定額
総合計	29,703,000 円	29,552,000 円
(うち公共事業)	16,654,000 円	16,654,000 円
(うち民間契約事業)	1,645,000 円	1,389,000 円
(その他自主事業)	11,604,000 円	11,509,000 円
収支差額	151,000 円	

I 人材育成・研修事業						14,752,000 円	13,553,000 円
事業項目／事業名	事業内容	開催時期	開催地・会場等	受益対象者	従事予定者	収入予定額	支出予定額
(1) 福祉資格講座						8,904,000 円	7,753,000 円
① 介護職員初任者研修(通信)	訪問介護従事者の養成	年間1回	日本福祉大学美浜	学生40人		2,800,000 円	2,440,000 円
② 強度行動障害支援者養成研修(基礎課程)	行動上著しい困難を有する障がい者の地域生活の支援が提供できる介護職員の養成	年間4回	知多市	一般160人		2,992,000 円	2,633,000 円
③ 強度行動障害支援者養成研修(実践課程)		年間1回	知多市	一般40人		792,000 円	685,000 円
④ 行動援護従事者養成研修		年間1回	知多市	一般40人		1,320,000 円	1,135,000 円
⑤ 喀痰吸引等研修講座	吸痰吸引等事業の提供ができる介護職員の養成	年間2回	知多市等	介護職員30人程度		1,000,000 円	860,000 円
(2) NPO人材育成事業						5,848,000 円	5,800,000 円
① 日本福祉大学 NPO協働型サービスラーニング	学生に自発的な体験学習を提供するための現場調整を行い、十分な振り返りとともに学生の成長を促す	通年	日本福祉大学美浜	学生117人	役職員等2名	805,000 円	805,000 円
② インターンシップ	学生を対象に、NPOへの理解を促す(名古屋短期大学)	年間2回	当法人事務所	学生5人	役職員等1名	100,000 円	52,000 円
③ インターンシップ	愛知県2年目職員を対象に、NPOへの理解を深め、協働を推進する基盤をつくる	通年	当法人事務所	愛知県2年目職員15人	役職員等1名	0 円	0 円
④ マネジメントセミナー	NPOリーダー・従事者のための基礎講座 BCP勉強会	通年	愛知県内	一般 行政 NPO職員等50人	役職員等1名	0 円	0 円
⑤ 職員研修	協働のまちづくりを担う人材の育成	通年	愛知県内	行政職員	役職員等2名	443,000 円	443,000 円
⑥ 高齢者地域コミュニティ参加促進事業	高齢者の通いの場参加促進のためのモデル構築	通年	愛知県(公募)	愛知県民	役職員等2名	2,400,000 円	2,400,000 円
⑦ 県公募 円卓会議	地域課題解決に向けた場の設置		愛知県(公募)	NPO 行政	役職員等2名	1,500,000 円	1,500,000 円
コーディネイトスキルアップ事業	NPOと大学・企業連携促進のためのコーディネイト人材育成研修		愛知県	NPO 行政	役職員等2名	600,000 円	600,000 円
⑨ NPO視察研修	依頼者のニーズに応じた現場見学研修	随時	愛知県内	NPO 行政	役職員等2名	200,000 円	200,000 円

II 情報交流促進事業						500,000 円	1,706,000 円
事業項目／事業名	事業内容	開催時期	開催地・会場等	受益対象者	従事予定者	収入予定額	支出予定額
(1) 情報提供事業						0 円	1,116,000 円
① ホームページ	ホームページを通じて、NPOやまちづくりに有益な情報を提供する。	通年	当法人事務所	まちづくりに関心を持つ市民、NPO、企業、行政等	役職員等1名	0 円	738,000 円
② 会報発行	会報を通じて、NPOやまちづくりに有益な情報を提供する。	年間4回	当法人事務所	まちづくりに関心を持つ市民、NPO、企業、行政等	役職員等2名	0 円	378,000 円
(2) 情報交流事業						500,000 円	590,000 円
① 会員交流	会員相互の懇親を図り、情報交換に機会をもつことで、NPOの発展に寄与する	通年	知多市	団体会員 個人会員	役職員等3名	0 円	70,000 円
② 会員リーダー研修	会員団体代表者等による、地域福祉の先進地への視察研修を行う	年間1回	各地	団体会員 個人会員	役職員等3名	500,000 円	500,000 円
③ NPOと行政の意見交換会	テーマを設定し、関係者の協議の場を設営することで、地域の協働を推進する	通年	知多市	5市5町 NPO・行政	役職員等3名	0 円	10,000 円
④ 愛知県内NPO支援センター情報交換会	センター相互の懇親を図り、情報交換の機会をもつことで、NPOの発展に寄与する	通年	愛知県内	NPO支援センター	役職員等2名	0 円	10,000 円

III 調査研究・提言事業						0 円	0 円
事業項目／事業名	事業内容	開催時期	開催地・会場等	受益対象者	従事予定者	収入予定額	支出予定額
(1) NPO・まちづくり研究調査提言事業						0 円	0 円
実施予定なし						円	円

IV 啓発相談事業						300,000 円	167,500 円
事業項目／事業名	事業内容	開催時期	開催地・会場等	受益対象者	従事予定者	収入予定額	支出予定額
(1) 講師派遣 各種審議会・審査会・委員会等参画						300,000 円	117,500 円
① NPO・まちづくり講師派遣	大学、市民団体や行政・企業などが行うNPOやまちづくり講座等に講師を派遣する。	通年	当該地域の会場。	学生、NPOやまちづくりに関心を持つ市民、NPO、企業、行政等	役職員等10名	300,000 円	117,500 円
(2) NPO・まちづくり相談事業						0 円	10,000 円
① まちづくり相談事業	住民が主体となり地域が協働して行うまちづくり活動推進のための相談やコーディネートを行う。	通年	当法人事務所及び公共施設など	市民 NPO・行政	役職員等2名	0 円	10,000 円
(3) 行政訪問						0 円	40,000 円
① 行政訪問	知多半島5市5町の自治体との協働推進を目的に定期的な訪問を行う。	通年	公共施設など	5市5町行政	役職員等2名	0 円	40,000 円

V 市民活動支援事業						14,151,000 円	14,125,500 円
事業項目／事業名	事業内容	開催時期	開催地・会場等	受益対象者	従事予定者	収入予定額	支出予定額
(1) 市民活動事務局支援事業						2,440,000 円	2,414,500 円
① 市民カフェAda-co da	ワンデイシェフシステムのサロン運営・コーディネート	通年	知多市市民活動センター	市民等	役職員2名	2,000,000 円	2,000,000 円
② ベティ基金	ボランティア団体、NPO法人等に対し寄付を行う事業の事務局運営	通年	知多市市民活動センター	市民等	役職員等2名	240,000 円	214,500 円
③ 事務支援	組織運営において事務支援・IT支援を行う	通年	知多市市民活動センター	市民団体 会員団体等	役職員等2名	200,000 円	200,000 円
(2) 市民活動支援事業(受託契約事業)						11,711,000 円	11,711,000 円
① 知多市市民活動センター相談・支援	相談・情報収集提供・場所の提供等市民活動の推進に必要な業務	事業契約期間	知多市市民活動センター	市民等	役職員等5名	8,630,000 円	8,630,000 円
② 知多市市民活動センター清掃事業	市民活動センター清掃・器具 資材の補充	事業契約期間	知多市市民活動センター	市民等	役職員等5名	881,000 円	881,000 円
③ 知多市市民活動センター夜間管理事業	市民活動センター夜間利用時の管理業務	事業契約期間	知多市市民活動センター	市民等	役職員等5名	400,000 円	400,000 円
④ 知多市まちづくり人材育成事業	次世代のまちづくり担い手育成	事業契約期間	知多市	一般50人	役職員等1名	300,000 円	300,000 円
⑤ 若者チャレンジ支援事業(知多市)	ちた未来塾(U29)の募集・運営	事業契約期間	知多市	学生・一般	役職員等2名	800,000 円	800,000 円
⑥ 知多市地域担い手育成事業	知多市内コミュニティ役員対象の研修	事業契約期間	知多市	学生・一般	役職員等2名	500,000 円	500,000 円
⑦ 50周年お祝い事業	市民活動促進する事業	事業契約期間	知多市	市民等	役職員等2名	200,000 円	200,000 円

2021年度（令和3年度）
活動予算書

2021年4月1日 から 2022年3月31日 まで

特定非営利活動法人 地域福祉サポートちた

(単位 :円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
1) 受取入会金		30,000	
2) 受取会費		700,000	730,000
2. 受取寄付金			
1) 一般寄付金			0
3. 受取助成金等			
1) 民間補助金			
2) 国・地方補助金			0
4. 事業収益			
1) 人材育成・研修事業			
① 福祉資格講座事業収益	8,904,000		
② NPO人材育成事業収益	6,048,000		
		14,952,000	
2) 情報交流促進事業収益		500,000	
3) 調査研究提言事業収益			
4) 啓発相談事業収益		300,000	
5) 市民活動支援事業収益			
① 事務局支援事業収益	2,440,000		
② 市民活動センター委託事業収益	11,711,000		
		14,151,000	29,903,000
5. その他収益			
1) 受取利息			
2) 雑収入			0
経 常 収 益 計			30,633,000
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
賃金給料	15,221,000		
法定福利費	1,389,000		社会保険料等
福利厚生費	490,000		通勤費 健康診断
人 件 費 計	17,100,000		
(2) その他経費			
Ada-coda原価	1,750,000		
諸謝金	2,285,000		講師料・講師交通費・見学科
旅費交通費	75,000		スタッフ交通費
通信運搬費	226,000		
交際費	0		
保険料	148,000		傷害保険 賠償保険 車
燃料費			ガソリン代(交通費にて積算)
消耗品費	269,000		事務用品 資料印刷 インク代
租税公課	1,486,000		印紙 消費税
施設利用料	324,000		会議室 活動室 厨房
支払報酬	273,000		社労士・税理士報酬
新聞図書費	20,000		福祉新聞
印刷費	45,000		団体パンフ・報告書等印刷
会議費	55,000		
賃借料	434,000		コピー機 電話機 セキュリティ パス賃借
研修費	450,000		
教材費	938,000		講座テキスト
実習費	675,000		実習日 活動費(SL)
委託料	3,154,000		
雑費	45,000		振込手数料等
そ の 他 経 費 計	12,652,000		
事 業 費 計			29,752,000

2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	310,000		
法定福利費	28,000		社会保険料等
福利厚生費	10,000		通勤費
人件費計	348,000		
(2) その他経費			
講師料	0		
旅費交通費	12,000		
通信費	16,000		
交際費	20,000		
保険料			
車両費			
消耗品費	10,000		事務用品 資料印刷 インク代
租税公課	77,000		法人税,自動車税
施設利用料	15,000		会議室
広告宣伝費			
支払報酬	15,000		社労士・税理士報酬
諸会費	95,000		他団体への会費
新聞図書費	10,000		書籍
印刷費			
会議費	30,000		理事会・総会
賃借料	18,000		
研修費	100,000		スタッフ研修
雑費	15,000		
その他経費計	433,000		
管理費用計		781,000	
経常費用計			30,533,000
当期経常増減額			100,000
前期繰越正味財産額			
次期繰越正味財産額			

2021年度 事業部門別予算書

特定非営利活動法人 地域福祉サポートちた

(単位 :円)

科 目	1) 人材育成・研修事業		2) 情報交流 促進事業	3) 調査研究 提言事業	4) 啓発相談 事業	5) 市民活動支援事業		事業合計	法人管理 部門	合計
	福祉資格 養成講座	NPO人材 育成事業				事務局 支援事業	市民活動セ ンター受託			
I. 経常収益										
1. 会費収益								0	730,000	730,000
2. 寄付金収益								0		0
3. 補助金収益								0		0
4. 事業収益	8,904,000	6,048,000	500,000		300,000	2,440,000	11,711,000	29,903,000		29,903,000
5. その他収益								0		0
小 計	8,904,000	6,048,000				2,440,000	11,711,000			
経常収益合計	14,952,000		500,000	0	300,000	14,151,000		29,903,000	730,000	30,633,000
II. 事業費										
(1) 人件費										
給料手当	3,184,000	1,962,000	922,000		78,000	300,000	8,775,000	15,221,000	310,000	15,531,000
法定福利費	290,000	198,000	57,000		7,000	35,000	802,000	1,389,000	28,000	1,417,000
福利厚生費	103,000	70,000	20,000		2,500	12,500	282,000	490,000	10,000	500,000
人件費計	3,577,000	2,230,000	999,000	0	87,500	347,500	9,859,000	17,100,000	348,000	17,448,000
(2) その他経費										
Ada-coda原価						1,750,000		1,750,000		1,750,000
講師料	1,840,000	130,000	50,000				265,000	2,285,000	0	2,285,000
旅費交通費	21,000	13,000	5,000		33,000		3,000	75,000	12,000	87,000
通信費	79,000	30,000	87,000		4,000	6,000	20,000	226,000	16,000	242,000
交際費								0	20,000	20,000
保険料	67,000	38,000	9,000		5,000	9,000	20,000	148,000		148,000
車両費								0		0
燃料費								0		0
消耗品費	95,000	35,000	14,000		4,000	37,000	84,000	269,000	10,000	279,000
租税公課	560,000	125,000	7,000		14,000	60,000	720,000	1,486,000	77,000	1,563,000
視察研修経費								0		0
施設利用料	116,000	31,000	7,000		4,000	152,000	14,000	324,000	15,000	339,000
宣伝広告費								0		0
支払報酬	130,000	64,000	17,000		8,000	17,000	37,000	273,000	15,000	288,000
諸会費								0	95,000	95,000
新聞図書費							20,000	20,000	10,000	30,000
印刷費			40,000			5,000		45,000		45,000
会議費	35,000	2,000				5,000	13,000	55,000	30,000	85,000
賃借料	195,000	111,000	21,000		8,000	21,000	78,000	434,000	18,000	452,000
研修費			450,000					450,000	100,000	550,000
教材費	938,000							938,000		938,000
実習費	80,000	595,000						675,000		675,000
委託費		2,580,000					574,000	3,154,000		3,154,000
雑費	20,000	16,000				5,000	4,000	45,000	15,000	60,000
その他経費計	4,176,000	3,770,000	707,000	0	80,000	2,067,000	1,852,000	12,652,000	433,000	13,085,000
小 計	7,753,000	6,000,000				2,414,500	11,711,000			
事業費合計	13,753,000		1,706,000	0	167,500	14,125,500		29,752,000	781,000	30,533,000
当期事業増減額	1,199,000		△ 1,206,000	0	132,500	25,500		151,000	-51,000	100,000

